

活動団体の紹介

「琵琶湖・淀川流域圏連携交流会」と関係を持つ中で、流域圏の再生に向け課題の解決に取り組む活動を行っているいくつかの団体を紹介します。
詳しくは、ホームページをご覧ください。

<http://www.bynet.jp/index.html>



①活動団体名(活動地域) ②連絡 ③活動内容

① NPO法人
蒲生野考現倶楽部
(滋賀県日野町、東近江市)
② gamouno.kougen.c@gmail.com
090-8757-2456
③ 里山の生物調査、水環境調査を通して学び伝える

① 草津塾(葉山川流域)
② toshi-tnk@kuc.biglobe.ne.jp
077-564-3051
③ 流域の環境調査・美化活動等を通じた保全活動と子ども達への体験学習を支援

① 琵琶湖お魚探検隊
(近江八幡市)
② 0748-32-2792
③ 親子三代お魚調査、地引網体験等、生きた体験環境学習を行う

① 東近江水環境自治協議会
(琵琶湖・東近江流域)
② 0748-32-2792
③ ヨシ等をテーマとした環境保全活動や文化・教育等の活動、活動をつなぐネットワーク活動

① カッパ研究会
(主に京都市内)
② kyoto-kappa@mbr.nifty.com
③ 京都の水文化を研究し、その成果を書籍等にまとめ、水の大切さを伝える

① NPO法人
やましる里山の会
(木津川流域、淀川流域)
② fddb257@ybb.ne.jp
0774-64-4283
③ スローガンは「自然を大切に
する仲間を大きくする」

① NPO法人
ビオトープネットワーク京都
(京都市、宇治市など)
② bionet@jca.apc.org
075-531-7915
③ 鴨川生き物調査、里山整備イベント活動等

① 京都河川美化団体連合会
(京都市など)
② nieda@nike.eonet.ne.jp
075-631-6606
③ 18団体で子供たちに美しい川を残す様々な活動

① 天の川を清流にする会
(枚方市域の天野川流域)
② m-masumoto@whitemax.co.jp
072-848-3678
③ 七夕伝説縁の天の川を清流にするための清掃・浄化活動

① NPO法人ひらかた
環境ネットワーク会議
(枚方市内全域)
② jimukyoku@hirakata-kankyoku.net
072-847-2286
③ 持続可能な社会をめざし、環境に関わる様々な分野で活動

① NPO法人
森林ボランティア竹取物語
の会(枚方市内東部里山等)
② azami3@kcat.zaq.ne.jp
072-853-5543
③ 海・川の保全にも繋がる、里山保全・啓発活動に取り組む

① おお川水辺クラブ
(大川を主なフィールドに活動)
② 06-4801-2288
(新里事務所共同)
③ 水辺のクリーン活動や生き物調査、Eポート体験、川の国際交流などを実施

10年間を振り返って!

イタセンバラ保全の活動に参加して!!

淀川の外来魚駆除活動や、イタセンバラ保全活動に、市民の方々に参加いただきました。参加した人たちと共に汗を流し、在来水生生物が目に見えて増加してくる様子を観察することで、イタセンバラが野生復帰できた喜びと感動を分かち合っていました。(大阪府)



広がった交流の輪!!

猪名川において、台風による河川環境の変化と外来植物・在来植物の生育状況を知る現地観察会を行い、特定外来種アゼチウリの抜き取り駆除を実施しました。この活動に参加いただいた地域活動団体同士で交流の輪が広がりました。(猪名川河川事務所)



多くの参加者との趣向を凝らした活動!!

源八橋からの「大川と大阪城」の風景を守る「大川クリーン活動」を行っています。多くの団体などのご協力で200人を超える参加をいただき、地引網やEポート体験など趣向を凝らした活動をしています。(おお川水辺クラブ)



木津川の素晴らしい自然環境を知ってほしい!!

自然に親しみ学ぶことを目的に、自然観察会や魚採りイベントを開催しています。また、木津川では、レンリソウやフナバラソウなどの貴重植物を発見しています。調査活動をまとめた冊子「木津川ってどんな川?」を沿川の各小学校に寄贈して、この素晴らしい自然環境をさらに広く知ってもらえるよう頑張っています。(やましる里山の会)



琵琶湖・淀川流域圏の再生計画

水でつなぐ「人・自然・文化」
琵琶湖・淀川流域圏



★豊かな自然を残そう!

★水と共に暮らす環境を再生しよう!

★歴史・文化と水資源で地域再生!

〒540-8586 大阪市中央区大手前1-5-44 大阪合同庁舎1号館
国土交通省 近畿地方整備局 企画部 広域計画課
TEL: 06-6942-1141 (代表) FAX: 06-6942-7463
<http://www.kkr.mlit.go.jp/plan/biwayodosaisei/index.html>



琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会

参画機関: 国土交通省、農林水産省、林野庁、経済産業局、環境省
三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県
京都市、大阪市、大津市
オブザーバー: 内閣官房、独立行政法人水資源機構関西支社

再生計画とは

琵琶湖・淀川流域圏に深い係わりを持つ関係省庁と地方公共団体が、流域圏として一体的・総合的な施策を展開することで、「歴史・文化を活かし自然と共生する流域圏・都市圏の再生」を図るための計画を平成17年に策定しました。

- 計画名称: 琵琶湖・淀川流域圏の再生計画
- 対象区域: 琵琶湖・淀川水系から水を供給している市町村の区域。
- 対象期間: 概ね策定後5~10年間で具体化を目処に、長期的(概ね20~30年間)な見通しを踏まえながら取り組んでいます。

基本理念

流域圏を一体として捉え、歴史・文化を活かしながら、人間を含めた全ての生物の営みが持続可能となる環境を再生し、安全で活力あふれる魅力的なまちづくりを行うため、流域圏全体で行動する。

基本方針

- 歴史・文化の活用
- 水文化の継承
- 連携の推進
- 水循環系の再構築
- 生態系と水環境の回復
- 原風景の保全
- 水を活かしたまちづくり
- 安全で安心な水の確保
- 災害に強い地域づくり
- 活力と魅力あふれる流域圏の創造

コンセプト

水でつなぐ
“人・自然・文化”

5つのプラン

- みずべプロムナードネットワーク
- 水辺の生態系保全・再生ネットワーク
- 水辺の賑わい創出
- 流域水環境再生
- 流域連携

詳細はホームページをご覧ください

<http://www.kkr.mlit.go.jp/plan/biwayodosaisei/plan/>



みずべプロムナードネットワーク

テーマごとの活動目標

舟運・サイクリング・ウォーキング等でゆったりと味わい・楽しみ・学びながら、周遊できる水辺のネットワークを構築します。

テーマごとの取り組み

- ★ネットワークの構築
- ★「川の駅」「湖の駅」の整備
- ★ソフト面の取り組み
- ★社会実験としての取り組み

●みずべプロムナードの整備

10年間で、629.6kmの「みずべプロムナード」を整備し、多くの人々に利用されています。

●「川の駅はちけんや」を整備

平成21年8月に「川の駅はちけんや」をオープンし、流域圏の様々な情報発信やイベント会場等として利用しています。

●みずべプロムナードの活用

様々なイベント開催やガイドブック、マップ等の作成に取り組んでいます。また、地域の住民の方々やNPO等と連携して、河川空間のクリーンアップ作戦を行っています。

琵琶湖・淀川流域圏の再生計画

10年間の歩み

流域連携

テーマごとの活動目標

地域間・主体間・分野間で連携した一体的な取り組みを継続するため、行政間の連携を推進する組織、市民・NPO・自治会等のネットワークの構築、また、これらを支援する組織を設置します。

テーマごとの取り組み

- ★琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会
- ★琵琶湖・淀川流域圏連携交流会
- ★公益財団法人琵琶湖・淀川水質保全機構
- ★琵琶湖・淀川流域圏再生有識者委員会 (H27.1月に解散)



●琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会
再生計画に関係する14の多様な機関によって設立し、連携を図りながら計画を推進しています。

●公益財団法人 琵琶湖・淀川水質保全機構
水質保全に関する様々な活動を通して、流域活動団体の支援や行政と住民が一体となる取り組みを行っています。

●琵琶湖・淀川流域圏連携交流会
流域圏で活動されている様々な団体を横に繋いだネットワーク組織として設立し、様々な活動を通じて多くのNPO等が連携を深めています。

●琵琶湖・淀川流域圏再生有識者委員会
有識者からなる委員会を設置し、再生計画の進捗について助言をいただきながら事業推進に取り組んできました。平成27年1月に役割を終えて解散しました。

流域水環境再生

テーマごとの活動目標

森林地域や農村地域と流域の恵みを受取る都市部とが一体となり、豊かな水を育む森林・農用地の保全・再生や、河川や湖沼のさらなる水質改善、安定した水量の確保を図り、健全な水環境を実現します。

テーマごとの取り組み

- ★適正な水管理のための水環境改善計画の作成
- ★「生命の水再生」アクションプランの実施
- ★水と人とのつながりの再構築
- ★流域水環境の統合管理に向けたアプローチ

●適正に水環境を改善する計画の策定
モデル流域において、住民等も参加して水質管理の手法などを検討しています。また、琵琶湖では、マザーレイク21計画の改定など、流域に係る多様な主体が参画して健全な水環境の形成を目指しています。

●水源の森林づくりの推進・啓発
水源を涵養する豊かな森づくりに向けて、森林の整備・適正管理や、流域住民の理解を高めるための啓発活動などを実施しています。



水辺の生態系保全・再生ネットワーク

テーマごとの活動目標

淡水生物の宝庫である多様な生態系を保全再生するため、希少種等の保全を視野に入れ、それらを取り巻く生物の生態・生育環境を保全再生します。

テーマごとの取り組み

- ★生きもの多様な空間づくり
- ★生きものが出会うネットワークづくり
- ★いきいきとながれる川づくり
- ★琵琶湖・淀川流域圏ならではの種の保全
- ★ソフト面の取り組み
- ★連携施策の推進

●生物の生息・生育環境の保全・再生
ヨシ帯や内湖、ワンド、干潟等の生物の生息・生育環境を保全・再生しました。

●水域の連続性の維持・向上

魚道の整備や点検等、河川や琵琶湖と水田との行き来を可能とする取り組み等を住民の方々の参加で行っています。

●在来種の保護増殖と外来種対策の実施
天然記念物（イタセンバラ、アユモドキ）の保全増殖活動や外来種（オオクチバスやボタムキザサ等）の駆除・啓発活動等に取り組んでいます。

水辺の賑わい創出

テーマごとの活動目標

まちに潤いをもたらす「せせらぎの創出」、水辺にふれあい、楽しむことができる「親水空間の再生・創出」を図り、人々が集い、活気に満ちた水辺を創出します。

テーマごとの取り組み

- ★せせらぎの創出
- ★親水空間の再生・創出

●市街地におけるせせらぎ整備
まちの中に潤いをもたらすせせらぎの再生・整備に取り組んでいます。

●水辺を活かしたまちづくり
水辺の親水空間の整備や舟運など一体的に、周辺のまちづくりに取り組んでいます。

●水辺空間の再生・創出・魅力向上
水辺空間を地域の資源として整備し、交流イベント等を開催することで地域の魅力を高めています。

●水に係る情報の発信と水を介した連携の促進
見学イベントの開催、マップ・パンフレットなどの制作・配布、案内板などの設置など、多様な手法を用いて情報を発信しています。また、流域住民や子供たちが連携した防災活動や上下流交流活動等に取り組んでいます。

